

単元名	わたしたちが創る 久が原の町		学年	6 年生
内容	B_地域の創生 ク：地域のイベントへの参画型		総時間数	35
目標	インタビューを通して、地域の課題を知り、これまでの経験や既習内容を活かしながら、自分たちができることを考え、地域の方に提案し実行していく活動を通して、未来を創造するための見方・考え方を身に付ける。さらに、他教科と関連したことを生かして、地域・社会・未来をより豊かにしようする資質・能力を活用する態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・ 久が原自治会の方々の話を聴く。 ・ コンセプトを設定するために必要な情報収集や調査を行う。 ・ インタビューの方法を考える。 ・ 情報収集をして疑問に感じたことや、より深く知りたいことなどを、久が原自治会の方々にインタビューする。 ・ 収集した情報を整理して地域を盛り上げるための企画のコンセプトを設定する。			・ 久が原自治会
デザイン	・ 地域の特徴を明らかにしたり、広報の方法について理解したりする。 ・ コンセプトにあったアイデアを発想する。（個人→グループ） ・ プレゼンテーションの方法を考える。 ・ タブレットやアイデアスケッチなど、プレゼンテーションの準備をする。 ・ 久が原自治会の方々に、アイデアをプレゼンテーションする。 ・ 提案したアイデアに対して、久が原自治会の方々の評価等を受ける。			・ 久が原自治会
クリエイション	・ 受けた評価等を踏まえて、アイデアを改善する。 ・ 最終案を決定し、準備を行う。 ・ 最終案を久が原自治会の方々に提案する。 ・ 通った提案を実現させる。（イベントの開催） ・ 久が原自治会の方々などの評価等を受けて取組を振り返る。			・ 久が原自治会 ・ 地域の住民
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。		9
	書くこと	・ 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。		
	書くこと	・ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		
	話すこと・聞くこと	・ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。		
	話すこと・聞くこと	・ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。		
社会 (第5学年)				
社会 (第6学年)	公民	・ 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。		3

算数 (第5学 年)			
算数 (第6学 年)	データの活用	・ 目的に応じてデータを集めて分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し，その結論について多面的に捉え考察すること。	2
理科 (第5学 年)			
理科 (第6学 年)	物質・エネルギー_第6学年	・ 「物質・エネルギー」の内容で学んだことを生かし、ものづくりを行うこと。	6
音楽			
図工			
家庭			
体育			
外国語			
総合		・ 地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	15